

JICA筑波公用車リース契約（2019年度～2024年度）（2019年8月15日付公示）の入札説明書に対する質問への回答は以下のとおりです。

連番	該当頁等	質問	回答
1	2. リース期間（10頁）	車両の登録（＝リース開始）から納車まで期間を要する場合には、数日の猶予は可能か？	可能としますが、その期間について代車の提供をお願いします。（中型バスはマイクロバスの代車で可）
2		納車後に弊社所定の書類「物件受取証」への押印は可能であるか。	可能です。
3	3. リース方式（10頁）	冬用タイヤは必要か。	必要です。
4		オフシーズンタイヤの保管条件はありますか。	当方では保管しませんので適切に保管をお願いします。
5	4. 中型バス仕様（11頁）	7. トランスミッションに関し、オートマチックとあるが、「AMT（6速）」でよろしいか。	AMT（6速）で差し支えありません。
6		8. 燃料モードに関し、指定された仕様によるオプション等では想定される車両総重量が上がる可能性があり、その分、若干（0.1Km/L）、下回るとは許容されるか。	許容します。
7		41. デザインに関し、具体的に文字数、大きさを教えて欲しい。	弊機構のロゴマークを車体の前後中央（大きさ：天地約11cm、幅約15cm）及び左右前輪上（大きさ：天地約28cm、幅約34cm）、名称文字「JICA筑波 国際協力機構」は車体左右、後輪上より後ろ（一文字の大きさ：天地/幅約11cm）を想定しています。イメージ図を参考にしてください。なおデータは提供します。
8		「左折ミラー」の記載がないが、弊社ではオプションとなるが必要か。	「左折ミラー」を設置してください。
9	5. マイクロバス仕様（12頁）	3. 車両全高に関し、指定された仕様により換気扇が設置されることから、若干（5mm）、上限を上回ることは許容されるか。	許容します。
10		1. 乗降ドアに関し、スイング式扉の場合、手動でよろしいか。	スイング扉の場合も自動で設置してください。
11		3. 暖房装置に関し、弊社では予熱器を選択した場合、寒冷地仕様となるため後面窓ガラスにヒーターとなるがよろしいか。予熱器はパワーヒーターでもよろしいか。	いずれも差し支えありません。
12		5. 扉窓ガラスに関し、プライバシーガラスでも許容されるか。	許容します。もし、オプション設定がない場合は、スモークフィルムにて設置してください。
13		17. マイクジャックに関し、客席左右合わせて2か所必要か。	必要です。
14		22. 左右サイドミラーに関し、電動格納式を想定されているか。運転席の鏡面調整は手動で許容されるか？	電動格納式を想定しています。もし、オプション設定がなければ運転席の鏡面調整の手動を許容します。
15		24. シートカバーに関し、ハーフシートカバーでよろしいか。	ハーフシートカバーで差し支えありません。
16		29. デザインに関し、具体的に文字数、大きさを教えて欲しい。	弊機構のロゴマークを車体の前後中央（大きさ：天地約10cm、幅約14cm）及び左右前輪上（大きさ：天地約26cm、幅約31cm）、名称文字「JICA筑波 国際協力機構」は車体左右、後輪上より後ろ（一文字の大きさ：天地/幅約10cm）を想定しています。イメージ図を参考にしてください。なおデータは提供します。
17	32. ドライブレコーダーに関し、リアは車外後方でなくてよろしいか。	客席内後方の方向を想定しています。	
18		「タイヤホール」の記載がないが、中型バスと同様にアルミの装着を想定されているか。	「アルミタイヤホール」を装着してください。中型バス同様に車両総重量を軽減させ、その分、乗車定員を増やすことを目的としています。
19	賃貸借契約書（16頁）	指定の契約書に弊社所定の契約明細書を綴じ込むことは可能であるか。	事前に内容を確認させて頂き是非を判断します。

以上

新しいJICAシンボルデザイン



はじめに

2008年10月、独立行政法人国際協力機構（JICA）は、これまでの技術協力に加え、国際協力銀行（JBIC）から有償資金協力（円借款等）、外務省から無償資金協力といった業務を承継し、新たに日本の国際協力を包括的に実施する機関へと生まれ変わりました。

新しいJICAは、3つのスキームを一体的に運用・実施していく世界有数の援助機関として、これまで以上に機動的で迅速な実施を行い、相乗効果を重視しながら、民間企業やNGO、大学、国際機関等、JICAを取り巻く様々なステークホルダーとの連携を強めた活動をしていきます。

このような新たな体制と組織文化の創造のために、これまでのコーポレート・アイデンティティ（CI）デザインシステムを改定することとしました。新しいCIは、これまでのJICAのCIも活かしながら、新たな要素を盛り込むことで、JICAを取り巻く多様なステークホルダーに新しいJICAの組織理念・画期性・信頼感を浸透させていくためのものです。本マニュアルにある内容をご理解いただき、新しいJICAのCI確立にご協力いただきますよう、どうぞよろしく申し上げます。

2008年10月
独立行政法人 国際協力機構 広報室

目次

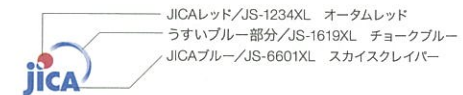
		ページ
1	4つの基本的なデザインルール	
1-1	4つの基本的なデザインルール-1,2	1
1-2	4つの基本的なデザインルール-3,4	2
2	Basic Design System	
2-1	基本デザイン要素	3
2-2	JICAシンボルデザイン	4
2-3	名称ロゴタイプ	5
2-4	カラーシステム(カラー再現規定)	6
2-5	指定書体	7
2-6	アイソレーション(不可侵領域)規定	8
2-7	シグネチャシステム-1(名称ロゴタイプとの組合せ)	9
2-8	シグネチャシステム-2(名称ロゴタイプ+住所などの組合せ)	10
2-9	シグネチャシステム-3(名称ロゴタイプ+機関名などの組合せ)	11
2-10	シグネチャシステム-4(例外)	12
2-11	JICAパターン	13
2-12	使用禁止例	14
3	Application Design System	
3-1	名刺-1(一覧)	15
3-2	名刺-2(国内/本部)	16
3-3	名刺-3(国内機関)	17
3-4	名刺-4(在外事務所)	18
3-5	封筒-1(洋0)	19
3-6	封筒-2(角2)	20
3-7	封筒-3(角1)	21
3-8	封筒-4(角1/和英併記)	22
3-9	封筒-5(洋0/海外)	23
3-10	封筒-6(角1/海外)	24
3-11	レターヘッド-1(和文)	25
3-12	レターヘッド-2(英文)	26
3-13	IDカード	27
3-14	シール(供与機材等)	28
3-15	ポスター/フォーマット-1(横型)	29
3-16	ポスター/フォーマット-2(縦型)	30
3-17	パンフレット/フォーマット-1(A4)	31
3-18	パンフレット/フォーマット-2(A4三折)	32
3-19	サイン-1(建植サイン)	33
3-20	サイン-2(銘板)	34
3-21	サイン-3(壁面サイン)	35
3-22	サイン-4(プレートサイン)	36
3-23	車両-1(国内)	37
3-24	車両-2(海外)	38
3-25	Web/バナー(イメージ)	39
3-26	パワーポイント/フォーマット	40
3-27	その他のアイテムデザイン(イメージ)	41

3-23 車両-1 (国内)

※JICAシンボルデザイン、名称ロゴタイプは、必ずイントラネットにある再生用データから再現してください。

車両の大きさやドアの位置、形状は様々ですので、下図の展開例を参考に、イメージが変わらないように他の車両へも展開してください。

■ スリーエムスコッチカルフィルム (不透過タイプ)



JICA札幌 国際協力機構

文字要素
JICAグレー/JS-1008XL バトルシップグレイ

